

再評価結果（平成15年度継続箇所）

事業名 一般国道287号 和合バイパス	事業区分 一般国道	事業主体 山形県
起終点 自：山形県西村山郡朝日町大字四ノ沢 至：山形県西村山郡朝日町大字栗木沢	延長 3.8 km	
事業概要 一般国道287号は、山形県米沢市を起点とし、山形県東根市に至る地域形成型広域道路に位置づけられた延長約8.2 kmの幹線道路である。 和合バイパスは、朝日町和合地区の隘路区間及び重量規制（17 t規制）されている老朽橋（明鏡橋）を解消し、安全性の向上及び物流の効率化など地域の活性化に寄与するものである。		
H5年度事業化	H年度都市計画決定	H6年度用地着手
全体事業費	約79億円	事業進捗率 59%
計画交通量	10,400台/日	
費用便益比 B/C	2.4	総費用 39億円
		（事業費：35億円 維持管理費：4億円）
		総便益 93億円
		（走行時間短縮便益：86億円 走行費用減少便益：4億円 交通事故減少便益：3億円）
		基準年 平成15年
事業の効果等 ・経済構造改革の支援：物流効率化の支援 中心市街地の活性化 ・活力ある地域づくり都市づくりの支援：地域づくりの支援 ・安心して住める国土の実現：道路の防災対策・危機管理の充実		
関係する地方公共団体等の意見 朝日町の首長及び町議会議員などで構成される「朝日町国県道整備促進同盟会」より、早期整備の要望を受けている（平成14年7月）。		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 東北横断自動車道酒田線（山形自動車道）の寒河江ICから西川IC区間が平成10年10月に、西川ICから月山IC区間が平成11年10月に供用され、当路線は高規格幹線道路と連携して広域的な活動、交流を支える幹線道路として重要性が高まった。		
事業の進捗状況、残事業の内容等 平成14年度までに1.7 km区間（H13:0.9km、H14:0.8km）を部分供用し、また、明鏡橋下部工が完了している。平成14年度までの進捗率は用地が90%、工事が38%である。残事業内容としては、残る2.1 km区間の用地買収と改良・舗装工事及び明鏡橋上部工工事である。		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 既供用区間の用地取得に期間を要し、事業の進捗に遅れが生じた。今後は、平成17年度に明鏡橋を含む1.0 km区間の部分供用、平成19年度に残る1.1 km区間を供用し、全線完成供用を目標としている。		
施設の構造や工法の変更等 盛土材料を購入土から公共残土、舗装合材を新生合材から再生合材に変更し、コスト縮減を図った。		
対応方針 事業継続		
事業概要図		
<p style="text-align: center;">和合バイパス L = 3.8 km</p> <p>起：西村山郡朝日町四ノ沢 終：西村山郡朝日町栗木沢</p> <p>全長：L = 3.8 km 供用済：L = 1.7 km</p> <p>沿線施設：明鏡橋、国道287号、国道458号、国道112号、東北横断自動車道、寒河江IC、西川IC、月山IC</p> <p>周辺市街地：朝日町市街地、寒河江市街地</p> <p>凡例： 供用中 再評価箇所</p>		